

南中学校地域防災拠点運営委員会、5年間のあゆみ

【平成19年4月～平成24年3月】

平成19年4月～平成20年3月(19年度)

年 月	項 目	数 量	内 容
平成19年4月	特記事項		柳委員長退任
平成19年5月	特記事項		東梅新委員長就任
平成19年5月	特記事項		六ッ川地区連合、新防災部長就任(東梅氏の推薦)
平成19年9月 平成20年10月	特記事項		六ッ川地区連合防災部長、南区生涯学習防災講座(5回)を受講。その後神奈川大学の防災講座受講。
平成19年9月	特記事項		// 南区公会堂にて連合の防災将来ビジョンを発表
平成20年2月	特記事項		// 南中初めての防災ライセンスリーダー取得
	参加自治会・町内会	12	
	班組織	5	総務班、情報班、救護班、給食班、給水班
	運営委員	12	その他学校2名、区役所2名、消防署1名、消防団2名、
	支援員	0	
	活動補助金 (南区から)	8万円	主な支出、運営委員会及び訓練時の弁当代、炊き出し費用(横浜市からは区には12万円)
平成19年4月～ 平成20年3月	防災ライセンス 取得者	1	
	防災資機材取扱 指導員	0	
	運営委員会会議	3	
	合同会議	0	運営委員・支援員が対象
	会議資料等作成先		行政に委ねる
	見学先		港南区役所に優秀拠点を紹介要請
平成20年3月 9日	防災訓練内容		業者に委ねた炊き出し、消防に委ねた水消火器等の体験、水道局に委ねた応急給水栓取扱い 備蓄庫の見学

平成20年4月～平成21年3月(20年度)

年 月	項 目	数 量	内 容
平成20年6月	特記事項		六ッ川地区連合防災部に「チーム防災六ッ川」を立ち上げる。(地域防災力の向上を目指す)
平成20年8月	特記事項		日野南小学校地域防災拠点の協力員を見習い、 当防災拠点に支援員制度を導入、支援員募集を開始する。
平成20年11月	特記事項		各班運営委員を3人体制にする。 副班長制をとる。
平成20年11月	特記事項		新たに 援護班、警備班を設置し、合計7班とする。
平成21年1月	特記事項		六ッ川地区連合防災部長、南中初めての防災資機材取扱指導員になる。(南区で3番目で6期生、任期3年間)
	参加自治会・町内会	12	
	班組織	5～7	班を増やす。
	運営委員	12～25	その他学校2名、区役所2名、消防署1名、消防団2名、
	支援員	152	累計
	活動補助金	8万円	必要なものに切り替える(いわゆる弁当事件)
平成20年4月～平成21年3月	防災ライセンス取得者	1	累計
平成20年4月～平成21年3月	防災資機材取扱指導員	1	累計
	運営委員会会議	3	
平成21年2月	合同会議	1	運営委員・支援員合同会議を始める。
	会議資料等作成先		総務班が資料を作る。
平成20年9月と12月 平成20年11月	見学先		他区の地域防災拠点の見学が始まる 日野南小学校地域防災拠点 日限山中学校地域防災拠点
平成21年3月8日	防災訓練内容		各班ごとに趣向を凝らす、訓練を取り入れる。 晴れバージョン、雨バージョンを用意し、雨天決行。 医療救護拠点訓練を試みる。

平成21年4月～平成22年3月(21年度)

年 月	項 目	数 量	内 容
平成21年5月以降	特記事項		防災ライセンスリーダーを受講促進 防災資機材取扱指導員が1名増員。
平成22年1月	特記事項		横浜市より地域防災拠点の「訓練マニュアル」が各自に配布される。(平成21年12月発行)
平成22年4月9日	特記事項		林文子横浜市長に備蓄庫の移動を申し入れるが、今もって実現されず。
	特記事項		インターネットなどによる避難所生活の実態資料や地震を体験した人たちの講話を聴いて学ぶ。
	特記事項		備蓄庫にトイレパックが備蓄される。 (約 3,000)
	参加自治会・町内会	14	弘明寺公園自治会、港南郷自治会が加わる。
	班組織	7	総務班、情報班、救護班、給食班、給水班、警備班、援護班の7班
	運営委員	25	その他学校2名、区役所2名、消防署1名、消防団2名、
	支援員	194	累計
	活動補助金	8万円	
平成21年4月～平成22年3月	防災ライセンス取得者	54	今年度
	防災資機材取扱指導員	2	累計
	運営委員会会議	3	
	合同会議	1	
	会議資料等作成先		総務班が会議資料、訓練要綱等全て実施。
平成21年10月 平成22年2月	見学先		くめぎ台小学校地域防災拠点 左近山第二小学校地域防災拠点
平成22年3月14日	防災訓練内容		防災訓練に各班ごとの訓練内容を取り入れる。 援護班が障害者に対する訓練を取り入れる。 外国人が訓練を体験する。

平成22年4月～平成23年3月(22年度) 東日本大震災が起こる。

年 月	項 目	数 量	内 容
平成22年4月以降	特記事項		新たに南中地域防災拠点として「事務局」を設ける。
平成22年4月以降	特記事項		総務班を「庶務班」と改める。
平成22年11月	特記事項		要援護者支援体制 が本格的に各自治会ごとに始まる。(拠点側も対応策を練る必要がある)
平成23年3月 12日の朝	特記事項		3月11日に東日本大震災が発生し、訓練を実施するかどうか検討した。緊急会議実施。
	特記事項		来年度から家庭防災員に対し、横浜市消防局(南消防署)が講習会を年4回開催する。
	参加自治会・ 町内会	15	新たに 内手自治会 が加わり、 合計15 となる。
	班組織	7	
	運営委員	32	その他学校2名、区役所2名、消防署1名、消防団2名、
	支援員	201	累計
	活動補助金	8万円	
平成22年4月～ 平成23年3月	防災ライセンス 取得者	12	今年度
	防災資機材取扱 指導員	3	累計
	運営委員会会議	3	
平成23年2月	合同会議	1	
	会議資料等作成先		事務局が会議資料、訓練要綱等全て実施。
	見学先		
平成23年3月 13日	防災訓練内容		防災訓練に各班ごとの訓練内容を取り入れる。 今年度も援護班が障害に関する訓練を取り入れる。 他地域からの見学者が多くなる。

平成23年4月～平成24年3月(23年度)

年 月	項 目	数 量	内 容
平成23年4月	特記事項		各班の運営委員を4人体制にする。
平成23年9月	特記事項		南中学校地域防災拠点運営マニュアルを初めて作成する。
平成24年1月	特記事項		新たに事務局員を兼任で複数体制とする。(3人増員)
平成24年3月末	特記事項		事務局会議を年間15回開催する。 備蓄庫にガス式発電機が装備される。
平成24年度以降	特記事項		来年度は給水班を「衛生班」と「給水班」とに分ける構想がある。
	参加自治会・町内会	15	
	班組織	7	「給食班」を「食料・物資班」と改める。
	運営委員	32	その他学校2名、区役所2名、消防署1名、消防団2名、新たに六ッ川・永田ケアフラザが加わる。
平成24年4月以降	支援員	204	来期から警備班に女性4人が加わる。 支援員は累計
	活動補助金	8万円	
平成23年4月～平成24年1月	防災ライセンス取得者	4 (今年度)	防災ライセンスリーダー受講者増える。 平成23年12月4日現在六ッ川地区連合他防災拠点 12名、南中58名、合計70名
	防災資機材取扱指導員	3	累計
	運営委員会会議	3	
平成24年2月	合同会議	1	
	会議資料等作成先		事務局が会議資料、訓練要綱等全て実施。
平成24年1月9日	見学先		障害者施設「きぼうの家」の防災訓練に参加。 (保土ヶ谷区)
平成24年3月11日	防災訓練内容		防災訓練に各班ごとの訓練内容を取り入れる。 他団体が訓練に加わる。

横浜防災ライセンスリーダーの現状

2011/9/30時点

2012/1/1時点

区	拠点数	リーダー数	リーダー数0 の拠点数・割合	1拠点あたり のリーダー数	人口1,000人 あたりのリー ダー人数	各区人口
鶴見	31	95	8 26%	3.06	0.35	274,415
神奈川	22	127	0 0%	5.77	0.55	232,943
西	12	44	0 0%	3.67	0.46	95,986
中	13	64	0 0%	4.92	0.44	145,863
南	25	210	2 8%	8.40	1.08	195,192
港南	31	136	6 19%	4.39	0.62	220,128
保土ヶ谷	26	149	4 15%	5.73	0.72	205,610
旭	37	275	2 5%	7.43	1.10	250,310
磯子	21	183	0 0%	8.71	1.13	162,139
金沢	26	148	2 8%	5.69	0.71	207,795
港北	28	108	2 7%	3.86	0.32	332,365
緑	22	248	0 0%	11.27	1.40	177,569
青葉	38	187	6 16%	4.92	0.61	306,042
都筑	27	128	4 15%	4.74	0.63	204,619
戸塚	35	167	6 17%	4.77	0.61	273,908
栄	20	143	0 0%	7.15	1.15	124,612
泉	23	160	1 4%	6.96	1.03	155,446
瀬谷	15	95	1 7%	6.33	0.75	126,298
全体	452	2,667	44 10%	5.99	0.72	3,691,240

横浜防災資機材取扱指導員の現状

2011/9/30時点

2012/1/1時点

区	拠点数	(1期生～8期生まで)		【任期途中離任者も含む】		各区人口
		指導員数	指導員数0 の拠点数・割 合(未集計)	1拠点あたり の指導員数	人口1,000人 あたりの指導 員人数	
鶴見	31	4	0 0%	0.1290323	0.0145765	274,415
神奈川	22	4	0 0%	0.1818182	0.0171716	232,943
西	12	2	0 0%	0.1666667	0.0208364	95,986
中	13	4	0 0%	0.3076923	0.027423	145,863
南	25	10	0 0%	0.4	0.0512316	195,192
港南	31	7	0 0%	0.2258065	0.0317997	220,128
保土ヶ谷	26	4	0 0%	0.1538462	0.0194543	205,610
旭	37	8	0 0%	0.2162162	0.0319604	250,310
磯子	21	9	0 0%	0.4285714	0.0555079	162,139
金沢	26	3	0 0%	0.1153846	0.0144373	207,795
港北	28	3	0 0%	0.1071429	0.0090262	332,365
緑	22	4	0 0%	0.1818182	0.0225265	177,569
青葉	38	3	0 0%	0.0789474	0.0098026	306,042
都筑	27	3	0 0%	0.1111111	0.0146614	204,619
戸塚	35	5	0 0%	0.1428571	0.0182543	273,908
栄	20	3	0 0%	0.15	0.0240747	124,612
泉	23	5	0 0%	0.2173913	0.0321655	155,446
瀬谷	15	0	0 0%	0	0	126,298
全体	452	81	0 0%	0.1792035	0.0219438	3,691,240